平成２５年９月１日発行

ゆ き つ ば き 通 信

第　158　号　　大町山岳博物館友の会

友 の 会 と 行 事

大町山岳博物館友の会副会長
有 川 美 保 子

平成 25 年度の友の会行事は、博物館と共催で４行事が計画され、６月には、「古道塩の道を歩く」、８月には「宮野館長といく　親子でライチョ観察ツアー」が実施されました。これらの企画を通じて、ファミリー会員が増えたことは、年度当初に掲げた目標のひとつでもあり、大変喜ばしいことです。

そして、今年から行事ごとに講師以外に数名の学芸員に同行していただくことで、行事はより充実したものへと変わりました。私も『親子でライチョウ観察ツアー』に参加しました。長年にわたりニホンライチョウの研究に携わってきた宮野館長といっしょに現地でライチョウの親子を観察し、解説いただいたことで、新たな知識と満足感を得られたことはもちろんですが、人文科学系学芸員の清水隆寿（こうじ）さん・関悟志さんの二人かもらも専門的立場による切り口で解説がなされ、その当時へ想いを馳せることができました。

近年は観光業者や地域でも登山・観察ツアー等による同様の企画があるのかもしれませんが、ひとつのツアーに数名の学芸員また専門員が同行し、現地を違った立場から解説いただけるという、贅沢な企画は「山博友の会」にしかできないことではないでしょうか。

次年度も博物館の学芸員・専門員、また会員の方のなかにも日頃から専門性を高めるために研鑽をつまれている方もいらっしゃいますことから、皆様方にもご活躍いただき、会員相互の知識向上につながる、ワクワクするような

企画立案を行っていきたいと考えています。つきましては、来年度行事の計画時期を迎えました。行事参加の折り、また博物館やミュージアムカフェ「こまくさ」へお出でになられたとき、電話、メールなど、どのような形でも構いません。皆様方からのご希望・ご意見、その他にお気づきなられた点などございましたらお寄せいただきたくお願い申し上げます。

友の会に入会して 30 年が過ぎました。今までファミリー会員で居続けられたのは、振り返りますに友の会と博物館相互の顔の見える関係が作られていたからだと思います。いつもどこかで楽しく、ワクワクしながら学べて、素晴らしい仲間がいて・・・・そんな友の会であったような気がします。

※来年度行事への希望につきましては、市の行事計画に関わる都合、10 月 20 日頃までにお寄せいただければ幸いです。

報　　告

宮野典夫館長といく　親子でライチョウ観察ツアー

山岳博物館・友の会・くろよん 50 周年記念事業実行委員会共催事業

８月４日（日）　扇沢～室堂平往復　参加者 22 名（子ども 5 名・大人 17 名）

千葉悟志

「おーい、ライチョウやーい。」

山岳博物館では、昭和39年から平成16年の 40 年間、ニホンライチョウの低地飼育研究を行ってきました。この度は、その飼育に長年携わり、研究を続けてきた宮野典夫山岳博物館館長と一緒に、大町市の鳥でもあるライチョウとはいったいどのような鳥なのか、また、ライチョウを通して高山環境に対する理解を親子で深めていただく機会とし、50 周年を迎えた黒部ダムを経て、室堂平で実施いたしました。

当日の大町市の天候は曇り。ところが、扇沢に近づくにつれ雲行きが怪しくなり、室堂駅に着くころにはカッパが必要なほどに雨が降っていました。駅到着後すぐに立山自然保護センターに移動し、そこでは、展示を用いて宮野館長からニホンライチョウをはじめ、世界のライチョウの種類や生態などについて解説をしていただきました。そして、カッパを着た一行は意を決して野外へ。すると、さきほどまでの悪天候は時折小雨となるくらいで、観察が進むにつれ、天候が徐々に回復していきました。

今回は事前に情報を得た４カ所の観察ポイントのうち、3 カ所で観察を行うことといたしました。一行は、宮野館長を先頭に辺りをきょろきょろと見回しながら、また双眼鏡を覗きこみ、

ライチョウを探しました。途中、ライチョウの羽を拾い、子どもたちは興味津々で期待感は最高潮に達しましたが、午前中はついに出会うことはできませんでした。そんなとき、宮野館長からは各ポイントで事前に用意された写真パネルによるニホンライチョウの生態や形態などについての解説がなされ、清水隆寿（こうじ）学芸員からは「立山室堂」について、関悟志学芸員からは「佐々成政と立山」にまつわるお話をしていただきました。

昼食後もライチョウは見つからず、帰りのトロリーバスの出発時刻が近づき、センターへと引き返す一行に諦めムードが漂うなかミクリガ池を過ぎたときのことでした。列の中間を歩いていたスタッフの松井啓子さんが「なにか動いている」と指で方向を示していました。双眼鏡で覗いてみると、いました！ヒナを連れたライチョウが。発見してからは、どこにいるのかと子どもも大人も大興奮で双眼鏡を覗きこみ、見つけられた人最後まで見つけられなかった人もいましたが、その場で 15 分ほど観察していただき興奮冷めやらぬなか帰路につきました。

こんなライチョウも現れました。（おちゃめな清水隆寿学芸員）

ライチョウを観察し、また同行した 2 名の学芸員から立山周辺にまつわるお話を聞けるというとても充実したツアーは、友の会と博物館の企画立案であったからこそ実現したものだと思います。今回、親子（保護者）でご参加いただいた家族は少数でしたが、久しぶりに事業で聞いた子どもたちの声に、昔の友の会事業には子どもたちのにぎやかな声がつきものたっだことを懐かしく思い出された方もいらっしゃったことでしょう。参加していただければ必ず、友の会の事業の良さを知っていただけることと思います。参加者の皆様、お疲れ様でした。

（担当運営部員：塩瀬・松井、事務局担当：千葉・宮野・清水（隆）・関）

烏帽子の会活動報告

烏帽子の会山行「風吹大池」　平成 25 年 7 月 27 日（土）

7/27(土)　小谷村 土沢登山口～風吹大池～北野登山口ルート 参加者　8 名で烏帽子の会山行が実施されました。

風吹大池は、湖面標高おおよそ 1,775m 北アルプス最大の池と言われており、周りには小敷池・科鉢池等衛星湖ように小さな池が点在してます。

AM7：30 土沢登山口　20 分ほど歩くと硫黄の臭がしてきて沢を見ると白く濁っていて異様（硫黄）な眺めです。花の種類も多くあります。ヒオウギアヤメ・ツルアリドオシ・ギンリョウソウ・サンカヨウ・タマガワホトトギス

AM10：00　風吹山荘に到着 90 分かけて風吹大池を一周小敷池・神の田圃・科鉢池・天狗原　静かでとても気持ちのいい場所です。キヌガサソウ・モウセンゴケ・トキソウ（長野県 RDB 調査対象種）と目も楽しませてくれます。

昼食の後、突然の雷雨になり下山は大変でした。

PM2:40 北野登山口到着　有川先生と再開。下山後冷えた体を温めるため湯原温泉「猫鼻の湯」に入浴。

花も豊富で人も少なく静かなとてもいい所です。紅葉の時にまた来たいですね。

今後の烏帽子の会山行予定

☆10/12（土）子壇嶺（こまゆみ）岳 1223m

（小県郡青木村）霊山として崇められ、真田氏の城砦が存在していた山

☆12/7（土）茅ヶ岳　1704m

（山梨県北杜市・甲斐市）金ヶ岳と連なって八ヶ岳に似ているため「にせ八つ」と呼び名がある。また、深田久弥さんが登山中に亡くなった場所、麓に深田公園があります。

ボランティアサークル便り

活動報告（６月～８月）

☆JR 企画『旅市』で博物館に訪れたお客様の館内案内をしました。県外からのお客様でした。『ミュジアムショップこまくさ』で買い物も楽しんでいただきました。

☆６月１日（土）に、ＪＲ信濃大町駅周辺に展示されたサクラソウを博物館に移動しました。７月２１日と８月１８日には、湿原植物園および付属園の除草等を行い、来春の開花に向けてお世話を続けています。併せて山岳図書資料館周辺の除草も行いました。

☆６月２日に恒例の「針ノ木慎太郎祭り」で、自然観察班のガイドを有川美保子さん・板橋和子さん・細川武子さん・宮澤陽美さんが行いました。ブナやハンノキのなかまの芽吹きやミネザクラ、キヌガサソウなどの花が春の山を染める中での自然観察会となりました。

今後の活動予定

９月１５日（日）午前９時 30 分～

サクラソウ、湿原植物園、他の除草及び植物植替え等

10 月 20 日（日）午後２時～

ボランティア内容は９月と同じ内容。屋外での作業は本年度最後となります。

11 月 10 日（日）飯田市美術博物館、飯田市動物園研修

（下記で紹介していますのでご覧ください）

飯田市美術博物館 飯田市動物園・ボランティアサークル研修のお誘い

友の会には、博物館事業に協力しながら学び、気づきあい、楽しみながらボランティアをするサークル（登録 150 円＝保険料）がありあます。

この度の研修では、ほかの博物館友の会がどのような活動をして博物館を盛り上げているのかを知るため、飯田市美術博物館（長野県）を訪ね、伊那谷自然友の会の活動について学芸員の村松武さんよりお話をお聞きします。また、館内説明やバックヤードの見学もさせていただく予定です。

午後は飯田市動物園に移動し、動物の展示手法や園内遊具などの視察をします。

以前からボランティアに興味のある方という方！この機会にご一緒しませんか。

■　日　　時：平成 25 年 11 月 10 日（日）

■　集合時間・場所：大町市役所（6：50）

〈コース〉

大町市役所（7：00 発）→道の駅安曇野松川（7：20）→安曇野スイス村（7：40）→駒ヶ岳ＳＡ（8：45）→休憩（15 分）→飯田市美術博物館（9：50）研修（2 時間）→昼食→飯田市動物園（13：30）見学　出発（15：00）→梓川ＳＡ（16：45）→休憩（15 分）→安曇野スイス村（17：20）→道の駅安曇野松川（17：40）→大町市役所（18：00）

■　募集人員：25 人

■　参加費：大人 3,500 円　　子ども 2,500 円

■　持ち物：筆記用具、昼食、雨具（傘など）、防寒着、飲み物、行動食等

■　申し込み：10 月のボランティア活動までに申し込み下さい

※道の駅安曇野松川・安曇野スイス村を乗降されご利用なされる方は、各駐車場での注意事項に従ってください。

※飯田市美術博物館では展示内容、見学内容によっては料金が異なる場合があります。

※現地で 1 km ほどの徒歩移動をする場合があります。

事務局担当：有川美保子

「こまくさ」より、ごあいさつ

前回の通信でお知らせいたしましたように、友の会での喫茶売店「こまくさ」は、11 月 4 日（祝）で営業を終了することとなりました。喫茶室の窓より、北アルプスの峰々を眺めては、ここでのお勤めももうすぐ終わりかと感慨に耽るこのごろです。

当初、予想もしなかった 7 年という長い年月。山博スタッフの皆さまや会員の皆さまに支えていただきながら、元気に過ごすことができました。また、毎年、毎月と訪ねてくださった方々や山好きの方々との数多くの楽しい出会いがあり、私の人生の巾を広げることができましたこと、とても嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。売上支援に貴重な書籍や小物を提供してくださった方々にも厚くお礼を申し上げます。

これまでの多くのサポートへのお礼も兼ねて、下記のようにセールを行います。

第１弾：　９月 29 日（日）まで

書　　籍　　５％　OFF

一般商品　　10％～20％　OFF（社協製品徐く）

仙波　美代子

♪こまくさ　さよならコンサート♪　のお知らせ

さて、しばらく振りに、そして最後のコンサートを行うことになりました。友人知人をお誘い合わせて、ぜひお出かけくださいませ。

日　時　　平成 25 年 10 月 20 日（日）　　午後６：30　開演

場　所　　大町山岳博物館　１Ｆ　ロビー

出　演　　平林 昭光　ザ・シャイニング・ヘッドバンド

入場料　　大人　1,000 円　　中高生　500 円　（飲み物付き）

☆会場準備の都合上、できるだけ事前の申し込みをお願いします。お申し込みは「こまくさ」まで、直接またはお電話で。（０２６１）２３- ６３３４

☆コンサート当日から営業最終日（11/4）まで、売店商品のファイナルセール（第２弾）を実施いたします。変な商品もある「こまくさ（友の会）」でのショッピングは泣いても笑っても最後です。

編集部より　友の会会報「ゆきつばき」原稿募集

～～～喫茶売店「こまくさ」によせて～～～

例年通り、一般原稿、行事参加の感想文、趣味や研究の成果、山行記、随想等等、山や自然、博物館活動にかかわること（こじつけでも）でしたら、何でもかまいません。会員に向けて、近況などお便り形式でいただいても良いかと思います。写真やスケッチなどがありましたら添えていただけるとありがたく思います。ワープロなどで作成の場合は、テキストデータもいただければ、大変助かります。なお、上にご案内の通り、本年度で友の会としての喫茶売店事業「こまくさ」は閉店となります。そこでこれまでのこまくさを振り返ってみたいと思いますので、思い出とか写真などをお寄せいただければ幸いです。

原稿の締め切りは 12 月中頃とします。また、こちらから原稿をお願いすることもあろうかと思いますが、ぜひご協力をお願いします。

原稿は takuya-m@juno.ocn.ne.jp（丸山卓哉）宛てお送りいただいてもかまいません。その際、件名に「ゆきつばき 42 号原稿」等をお付け下さい。写真等も添付できます。受領確認した場合は返信しますのでご確認ください。

ゆきつばき通信編集室より

早く梅雨に入ったら早く明けて、突然の猛暑。一転梅雨の戻りのぐずついた天気。そして立秋過ぎの連続猛暑と、天気に振り回された今年の夏でした。しかし、落ち着いているのが本当の姿でもないでしょうから、機をとらえて我々は野山に遊ばなければなりません。

今回は秋の行事のご案内になります。大町と糸魚川は国道 148 号や大糸線で結ばれていますが、それはほぼ糸魚川-静岡構造線という地質の大きな境に沿っています。ですから、そこに谷ができて西山と東山ではこれほども様子が違っています。道中も車窓から太古のダイナミズムを感じながら有意義な事業になればと思います。祈、好天。

本文中にもご案内しましたが、来年度行事への希望をお寄せいただければ幸いです(10 月 20 日頃までに)。そして、ゆきつばきの原稿もよろしくお願いいたします。　（丸山卓哉）

行事のご案内については博物館ホームページの案内をご覧ください。
今回ご案内した行事は下記のとおりです。

【山岳博物館・友の会　共催事業】

小坂共栄専門員といく糸魚川世界ジオパーク探検ツアー

10 月 14 日(月,祝)　午前 7 時～午後 4 時

ゆきつばき通信　第 158 号 web 版

発行／大町山岳博物館友の会　　平成 25 年 9 月 1 日

〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
大町山岳博物館内　山博友の会事務局　　Tel/Fax 0261-23-6334
会費振替口座番号　00550－2－24194　加入者名　山博友の会